

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成25年11月28日 (2013.11.28)

【公表番号】特表2013-524826(P2013-524826A)
 【公表日】平成25年6月20日 (2013.6.20)
 【年通号数】公開・登録公報2013-032
 【出願番号】特願2013-506613(P2013-506613)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 1/00 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 1/00 G

C 1 2 N 5/00 1 0 2

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月7日 (2013.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

生産期を含む、組換えポリペプチドを産生するための方法であって、細胞培養培地中で組換え C H O 細胞を培養し、組換えポリペプチドを発現させ、前記細胞培養培地は、6 0 ~ 2 5 0 0 m g / L の塩化コリンまたは等量の別のコリン塩を含み、かつ 2 0 ~ 5 7 m m o l / L のアミノ酸の全濃度を有する、無血清および無タンパク質培地である、前記方法

【請求項 2】

組換えポリペプチドが組換え抗体である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

フェドバッチプロセスで細胞を培養する、請求項 1 または 2 のいずれかに記載の方法。

【請求項 4】

前記細胞培養培地が 8 0 ~ 1 0 0 0 m g / L の塩化コリンまたは等量の別のコリン塩を含む、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】

前記細胞培養培地が 3 5 ~ 5 4 m m o l / L のアミノ酸の全濃度を有する、請求項 1 から 4 のいずれかに記載の方法。

【請求項 6】

前記細胞培養培地が 5 0 0 ~ 1 4 0 0 m g / L の濃度でグルタミンを含有する、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の方法。

【請求項 7】

細胞培養培地中のグルタミンの含有量が 9 0 0 ~ 1 2 0 0 m g / L の量である、請求項 1 から 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

請求項 6 または 7 のいずれかに記載の細胞培養培地が、m m o l / L で表す以下の濃度で以下のアミノ酸：

アルギニン 4 . 0 ~ 6 . 0
アスパラギン 3 . 0 ~ 6 . 0
アスパラギン酸 2 . 5 ~ 4 . 0
グリシン 0 . 3 ~ 0 . 8
ヒスチジン 0 . 6 ~ 1 . 0
イソロイシン 2 . 0 ~ 5 . 0
ロイシン 3 . 0 ~ 7 . 0
リシン 2 . 0 ~ 4 . 0
メチオニン 1 . 0 ~ 1 . 5
フェニルアラニン 1 . 0 ~ 2 . 0
プロリン 2 . 5 ~ 6 . 0
セリン 3 . 0 ~ 8 . 0
スレオニン 2 . 0 ~ 3 . 5
トリプトファン 0 . 4 ~ 1 . 0
バリン 2 . 5 ~ 5 . 0
チロシン 1 . 0 ~ 2 . 0
シスチン 0 . 5 ~ 1 . 0

を含む、請求項 1 から 7 のいずれかに記載の方法。